

平成29年度 基本評価調書(別紙様式1 施策評価関連)

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 佐藤 寛	施策コード	11 - 10
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-418)	関係課	生涯学習課、文化財・博物館課		

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

【総合計画等の位置づけ】

政策体系	大項目(分野)		中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標		
	3	人・地域	(4)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承	A	北海道独自の歴史・文化の発信と次代への継承	-		
3	人・地域	(4)	ふるさとの歴史・文化の発信と継承	C	生活に潤いと豊かさをもたらす芸術文化の振興	文化会館入館者数			
北海道創生総合戦略	A4111		北海道強靱化計画		新・北海道ビジョン	C08101			
特定分野別計画等	北海道教育推進計画								

1 目標等の設定

現状と課題	<p>・アイヌの人たちは長い歴史の中で民族として独自の伝統や文化を培ってきたが、伝承者の高齢化などからアイヌ語やアイヌ文化の継承・保存が急がれる状況にある。</p> <p>・個性豊かな土偶や漆工芸を生み出した北海道と北東北3県(青森・秋田・岩手)に所在する縄文遺跡群について、世界遺産への登録が期待されている。</p> <p>・近年、人々の生活意識や価値観の多様化などにより、物質的・経済的な豊かさだけでなく、日常の暮らしの中にゆとりや潤いといった心の豊かさが一層求められるようになり、文化に対する関心や期待が高まっている。</p>			施策目標	<p>・有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組むとともに、保存・伝承活動を推進する。</p> <p>・国指定史跡の縄文遺跡群や大規模竪穴住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ世界文化遺産への登録に向けた取組を推進する。</p> <p>・すべての道民が生涯を通じて文化に親しむことのできる環境づくりを進めるため、市町村や関係機関と連携しながら、芸術文化活動へ参加する機会や芸術鑑賞などの文化に触れる機会などの充実を図る。</p> <p>・地域における文化活動を促進するため、若手芸術家などの活動支援や地域の文化活動を支える人材の育成に取り組む。</p> <p>・文化財の調査・保存・活用を推進するとともに、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信に取り組む。</p>		
	政策体系	役割等			政策体系	役割等	
施策の推進体制 (役割・取組等)	3(4)C	【芸術文化の振興】 [道]①美術館がないへき地等での鑑賞の機会や子ども達の鑑賞の機会を提供、②学校の長期休業中の芸術体験事業の実施、③美術体験充実事業の実施など				H27	553,467
	3(4)A	【文化財の保存・活用】 [国]①「教育・文化週間」の一環として文化財保護強調週間を設け、広報活動や行事を集中的に実施 [道]①文化財パトロール、②未指定文化財の調査と指定・登録の推進等、③文化財保護強調月間における文化財公開関連事業、④子どもの民俗芸能振興事業、⑤文化財に親しむ機会の提供と情報の発信など				H28	546,102
						H29	598,384

今年度の取組	政策体系	今年度の取組	政策体系	今年度の取組
	3(4)A 3(4)C	◎芸術文化活動の促進、芸術鑑賞等広く芸術文化に接する機会の充実、芸術文化環境の充実 ○文化財の調査・保存・活用の推進、アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進、世界遺産登録へ向けた取組の推進、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 ○アートギャラリー北海道の取組 ○鑑賞学習用支援ツールを作成し、小中学校へ提供		

<前年度意見への対応>

前年度付加意見（二次政策評価における付加意見の内容）	【施策目標の達成状況（目標達成に向けてさらなる取組が必要）】 目標達成に遅れが見られる「アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動」の促進に向け、関係部局と連携し、講座等の内容充実や周知方法の改善を図るなど、より実効性の高い取組となるよう検討すること。	付加意見への所管部局の対応 (H29年3月末時点)	平成29年度の講座実施に当たり、初心者から中級者まで幅広いレベルの参加者が段階に応じて取り組める講座内容とする。また、講座の周知方法は、チラシ配布に加え、講座会場が所在する市町村広報への記事掲載、報道機関への情報提供、環境生活部など関係機関のHPへリンク貼付するなどして講座の周知を図る。

Do & Check 施策評価

1-2 取組の結果

(1) 取組の実績と成果

政策体系	実績と成果等	関連する計画等			更に取組が必要な事項
		北海道創生総合戦略	北海道強靱化計画	新・北海道ビジョン	
3(4)C	<p>【芸術文化の振興】</p> <p>◎芸術文化活動の促進、芸術鑑賞等広く芸術文化に接する機会の充実、芸術文化環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館のない市町村での移動美術館を2市で開催し、1,661名が入館したほか、美術館と学校が連携した教育普及事業として14校において出張アート教室を開催した。 ・北海道巡回小劇場を30市町村で開催し、6,373名が鑑賞し学校における文化芸術体験の充実を図った。 	—	—	—	
3(4)C	<p>【芸術文化の振興】</p> <p>○アートギャラリー北海道の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の美術館や文化施設が、ネットワーク化を進め、相互に作品を紹介・発信するなど、各種事業の添加により、北海道全体がアートの舞台となることを目指す「アートギャラリー北海道」の取組について検討を進めている。 	—	—	—	
3(4)C	<p>【芸術文化の振興】</p> <p>○鑑賞学習用支援ツールを作成し、小中学校へ提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術鑑賞等の文化に触れる機会を図るため、学校の授業で活用できる鑑賞学習支援ツールとして複製パネルや各道立美術館の所蔵作品を活用した「アートカード」を作成し、学校に提供した。 	—	—	—	
3(4)A	<p>【文化財の保存・活用】</p> <p>○文化財の調査・保存・活用の推進、アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進、世界遺産登録へ向けた取組の推進、文化財に親しむ機会の提供と情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財パトロールを年間513件実施したほか、道指定無形民俗文化財(松前神楽)の国指定に向けた学術調査を実施し、文化財の保存・活用の推進を図った。 ・叙事詩「ユーカー」の翻訳を整理(3冊)して報告書を作成し、アイヌ関係団体、大学、図書館、博物館等へ配布したほか、アイヌ文化にかかわる講座・研修会を開催した。 <p>〈平成28年度実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ民俗文化財の伝承者養成講座:1会場1回12名参加、アイヌ民俗技術伝承講座:5会場58回602名参加、アイヌ民俗芸能伝承講座:5会場38回403名参加 ・アイヌ文化財専門職員等研修会:1会場1回65名参加 合計98回、1,082名参加)。 <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度における講座の開催に当たっては、広く道民の参加を促すため、幅広いレベルの参加者が受講できるような講座内容としたほか、報道機関への情報提供等様々な媒体による周知を行った。 ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録に向けた機運を醸成するためのフォーラム・パネル展を開催(全6回、旭川市、札幌市(5回))したほか、「北の縄文道民会議」と連携した札幌市地下歩行空間や道庁赤レンガ庁舎での企画展やセミナーを開催するなど、世界遺産登録に向けた取組を行った。 ・未指定文化財の調査及び指定の推進に取り組み、平成28年度は上の國八幡宮をはじめとする有形文化財3点を北海道有形文化財に指定した。 ・江差町の「ニシンの繁栄が息づく町」並びに函館市及び松前町を含む道内外11自治体の「北前船寄港地・船主集落」が平成29年4月に道内で初めての日本遺産の認定を受けた。 	A4111	—	C08101	

(2) その他の取組の成果等

国等提案・ 要望状況	・「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関連する4道県及び関係市町村とともに文科大臣及び文化庁長官にH29年度の世界遺産登録の推薦を要望(H29.4)	施策に 関する 道民ニーズ	○北海道文化財保護審議会における委員(学識経験者)からの主な意見(H28.9、H29.3) ・上ノ國八幡宮、矢不來館跡出土品、青苗遺跡出土品について道指定有形文化財候補として調査を進めるべき。 これらを踏まえ、調査実施の上、文化財の道指定を進めるなど、文化財の保存・活用などの取組に反映している。
---------------	--	---------------------	--

平成29年度 基本評価調書

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	施策コード	11 - 10
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

2 連携の状況

(1) 施策間・部局間の連携

2-2 連携の取組状況

(1) 施策間・部局間の連携

政策体系	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
3(4)A	・「アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画」に基づき、関係部と連携しアイヌ文化の保存・伝承・振興等に取り組む。 ・「アイヌ施策推進連絡会議」に参画し、アイヌ文化関連の取組等について情報交換を行う。	N0313	環境生活部アイヌ政策推進室	・道教委委託事業「アイヌ民俗文化財伝承・活用事業」の会議に教育庁文化財・博物館課職員及び道環境生活部アイヌ政策推進室職員がオブザーバーとして出席し、アイヌ文化の振興等の取組の推進について連携を図った。(H29.6) ・環境生活部アイヌ政策推進室主管のアイヌ文化情報発信ネットワーク会議(第7回)に出席予定
3(4)A	・道が設置する北海道文化審議会に出席するほか、情報交換を密にし、連携して芸術文化活動の促進等に取り組む。 ・道教委職員を文化振興課縄文世界遺産推進室に併任し、世界遺産登録に向け、推薦書案の作成、縄文文化に関するパネルや出土品展示などに取り組む。	N0314	環境生活部文化振興課	・北海道文化審議会に出席し、道教委の文化施策等について説明するなど、芸術文化活動の促進に向け情報共有を図った。(H29.8) ・地下歩行空間において「縄文まつり」を開催し、縄文文化に関するパネルや出土品展示を行い、広く道民に周知を図った。(H29.7)
-	・北海道150年事業ワーキングチームに参加し、関係部との情報共有を図るとともに、事業の推進に協力する。	N0214	総合政策部政策局	・北海道150年事業に向けた会議等に参加し、事業の今後の進め方等について意見を交換するなどして事業の推進に向けて連携が図られた。

(2) 地域・民間との連携・協働

2-2 (2) 地域・民間との連携・協働

連携内容	連携先	取組の実績と成果

平成29年度 基本評価調書

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	施策コード	11 - 10
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)	Do & Check 施策評価
---------------------------------------	-----------------

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	—	評価年度	—	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H22	年度	H29	最終年度	H37					
文化会館入館者数(万人)	基準年度	H22	年度	H29	最終年度	H37	達成度合	—	評価年度	—	当該指標は、3年毎に文部科学省が調査しているため、平成32年に公表される平成29年度の調査結果に基づき達成度を分析する。	
		基準値	46	目標値	48	最終目標値	50	年度	H28	H29		進捗率
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	46	46	50		
	北海道総合計画		3(4)C	増加	(基準値/目標値)×100		実績値	—	—	—		
[指標の説明] 芸術・文化活動への道民の参加状況を表す一つの目安(3年毎の文部科学省の調査)						達成率	—	—	—			
他①	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29					
道立美術館・芸術館等の入館者数	基準年度	H23	年度	H29	最終年度	H29	達成度合	B	評価年度	H28	概ね目標が達成されたが、引き続き集客力のある展覧会を開催するなど、入館者数を増やす取組を進める必要がある。	
		基準値	663,022	目標値	700,000	最終目標値	700,000	年度	H28	H29		進捗率
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	700,000	700,000	700,000		
	北海道教育推進計画		3(4)C	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	661,713	—	661,713		
[指標の説明] 1年間の道立美術館・芸術館・道立文学館の展覧会事業などの入館者数						達成率	94.5%	—	94.5%			
他②	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	A	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H24	年度	H29	最終年度	H29					
文化財への保存・活用への取組状況	基準年度	H24	年度	H29	最終年度	H29	達成度合	A	評価年度	H28	目標指数は達成したが、事業未実施の市町村に対しては啓発強化が必要である。	
		基準値	33.1	目標値	50	最終目標値	50	年度	H28	H29		進捗率
	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	49	50	50		
	北海道教育推進計画		3(4)A	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	67	—	67.1		
[指標の説明] 北海道文化財保護強調月間(10/8~11/7)に、指定文化財が所在する市町村のうち「文化財を活用した事業」を実施している市町村の割合						達成率	136.9%	—	134.2%			

他③	指標名	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H28	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H25	年度	H29	最終年度	H29					
	アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	基準値	1,381	目標値	2,500	最終目標値	2,500	年度	H28	H29	進捗率	平成28年度においては、伝承者養成講座等3種類の講座とアイヌ文化財専門職員等研修会を延べ98回開催し、受講者合計1,082名であった。 主な要因は前年度からの会場数の減により、参加者数が減少したものの、1講座当たりの参加者数を増やす取組を継続して進める必要がある。
〔指標の説明〕 道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	根拠計画		政策体系	増減方向	達成率の算式		目標値	2,200	2,500	2,500		
	北海道教育推進計画		3(4)C	増加	(実績値/目標値)×100		実績値	1,082	-	1,082		
							達成率	49.2%	-	43.3%		

● 本施策に成果指標を設定できない理由	● 達成度合について					
	達成度合	A	B	C	D	-
	直近の成果指標の達成率	100%以上	90%以上 100%未満	80%以上 90%未満	80%未満	算定不可

平成29年度 基本評価調書

施策名	教育分野における文化・芸術活動の振興	施策コード	11 - 10
-----	--------------------	-------	---------

Plan 施策推進計画(事務事業)(目標管理型行政運営システム実施要領別紙様式2)

Do and Check

4 事務事業の設定

4-2 事務事業の評価

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強 靱 化 計 画	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価		
							事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)						点検事項		
								うち 一般財 源	本庁	出先機関							人工計	付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)	推進 事項
0536	3(4)C		児童生徒文化活動奨励事業費	全国高等学校文化祭の参加補助	高校教育課		6,941	6,941	0.10	0.00	0.1	7,741							現状維持
0537	3(4)C		高等学校文化活動推進費	文化系部活動の外部指導者派遣事業	高校教育課		1,524	1,524	0.20	0.10	0.3	3,924							現状維持
1022	3(4)C		青少年芸術劇場費	本物の舞台体験事業(文化庁事業)及び北海道巡回小劇場に係る事務	生涯学習課		3,652	3,652	0.20	0.3	0.5	7,652							縮小
1023	3(4)C		小規模市町村等教育活動支援事業費	へき地における教育活動の支援の充実を図る。	生涯学習課他		2,048	2,048	0.90	2.0	2.9	25,248							終了
1101	3(4)C		美術館維持運営費	・近代美術館の維持運営費 ・旭川美術館の維持運営費 ・函館美術館の維持運営費 ・帯広美術館の維持運営費 ・三岸好太郎美術館の維持運営費	文化財・博物館課		379,161	375,804	1.00	15.0	16.0	507,161							現状維持
1102	3(4)C	他①	美術館事業費	道立美術館5館の事業費等	文化財・博物館課		91,627	30,891	1.00	24.5	25.5	295,627							縮小
1103	3(4)C		博物館登録等博物館事務、学芸員資格・講習会等事務	博物館登録等博物館に関する事務、学芸員資格・講習会等に関する事務	文化財・博物館課		0	0	0.10	0.0	0.1	800							現状維持
1104	3(4)A		文化財保存対策費	・文化財保護法等に基づき、文化財の保存・活用等を図るための事業	文化財・博物館課		3,001	1,473	3.00	1.5	4.5	39,001							縮小
1105	3(4)A		遺跡埋蔵文化財保存対策費	文化財保護法に基づき、土木工事等に対する文化財保護上の必要な指示を行うための埋蔵文化財包蔵地の調査を行うための事業	文化財・博物館課		12,828	6,414	5.80	1.2	7.0	68,828							縮小

整理番号	政策体系	指標	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	平成29年度					創生 総合 戦略	強 靱 化 計 画	新・ 北 海 道 ビ ジ ョ ン	前年度 付加意見	付加意見への 所管部局の対応 (H29年3月末時点)	一次政策評価			
							事業費 (千円)	執行体制									フル コスト (千円)	点検事項		方向性
								うち 一般財 源	本庁	出先機関	人工計							付加意見への 所管部局の対応 (評価時点)	推 進 事 項	
1106	3(4)A	他③	アイヌ文化財保 存対策費	・アイヌ民俗技術及びユ カラを記録保存、アイヌ の生活用語や伝統的な 風俗習慣、民俗芸能の 保存伝承活動、アイヌ 民俗文化財業務に携わ る専門職員等を対象と した資質向上及び要請 を図る事業 ・アイヌ文化を国民に紹 介し、正しい理解を深め るための文化祭開催に 対する補助金	文化財・ 博物館 課		13,046	6,591	0.90	0.0	0.9	20,246						見直し検討 (指標)		
1107	3(4)A		文化財保護活動 費補助金	文化財に対する道民の 理解を深め、普及啓発 事業や、顕彰事業、情 報発信等の事業実施に 対する補助金	文化財・ 博物館 課		4,987	4,997	0.30	0.0	0.3	7,387						縮小		
1108	3(4)A		埋蔵文化財情報 システム維持管 理費	埋蔵文化財包蔵地に 関する情報をインター ネットを通じて公表し、道民 に周知するための維持 管理事業	文化財・ 博物館 課		2,028	1,014	0.20	0.0	0.2	3,628						現状維持		
1109	3(4)A		世界遺産登録へ 向けた取組の推 進	国指定史跡の縄文遺跡 群や大規模竪穴住居跡 群の世界文化遺産への 登録へ向けた取組の推 進	文化財・ 博物館 課		0	0	1.10	0.0	1.1	8,800						現状維持		
1110	3(4)A		文化財に親しむ 機会の提供と情 報の発信	文化財を学校教育や社 会教育の場において活 用する機会や、子ども たちや地域の人々が文 化財に親しむ機会を提 供するとともに、文化財 に関する多様な情報の 発信の取組	文化財・ 博物館 課		0	0	0.20	0.1	0.3	2,400						現状維持		
1111	3(4)A		ほっかいどう子 ども民俗芸能振興 事業費	児童生徒に民俗芸能の 実演や鑑賞等の機会を 提供し、地域に伝わる 民俗芸能への興味関心 や郷土愛を育むととも に、先人から受け継い だ文化を保全・活用し、 後継者育成など地域の 活性化を図る。	文化財・ 博物館 課		3,006	3,006	0.50	0.9	1.4	14,206						終了		

平成29年度 基本評価調書

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	施策コード	11 - 10
-----	--------------------	-------	---------

Do & Check 施策評価の一次評価結果(各部局等による評価)

5 一次評価結果

(1)成果指標の分析

政策体系	達成度合の集計					判定	成果指標の分析
	A 100%以上	B 90%以上 100%未満	C 80%以上 90%未満	D 80%未満	- 算定不可		
3(4)A	1			1		D指標あり	<文化財への保存・活用への取組状況【A】> ・指標を大きく超える市町村が文化財を活用した事業を実施しており、道民の文化財に親しむ機会が着実に増えている。 <アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数【D】> ・主に会場数の減を要因として、前年度から参加者数が減少したが、幅広い受講者が参加可能となるような講座内容の充実や様々な媒体を活用した周知方法の工夫により、1講座当たりの参加者増に繋がる取組を推進する。
3(4)C		1			1	A・B指標のみ	<文化会館入館者数(万人)【算定不可】> ・当該指標は、3年毎に文部科学省が調査しているため、平成32年に公表される平成29年度の調査結果に基づき達成度を分析する。 <道立美術館・芸術館等の入館者数【B】> ・魅力ある展覧会の開催や、移動美術館や出張アート教室の実施など芸術文化に触れる機会の提供により、概ね目標を達成した。
						-	
						-	
						-	
						-	
計	1	1	0	1	1	D指標あり	
	4						

(2)取組の分析

基準1 (施策の推進に当たり対応すべきもの)		対応している (○あり→対応している)	対応しているとする理由
1	計画した取組を着実に進め、かつ社会情勢や道民の要請等を踏まえた課題等に対応しているか	○	・文化財保護強調月間における文化財公開等関連事業の促進など計画していた取組を着実に実施したほか、市町村や学校の要望等を踏まえ、移動美術館や出張アート教室の実施など芸術文化に接する機会の充実に取り組んでいる。
基準2～4 (施策の推進に当たり取組が認められる)		取組がある (○あり→取組がある)	取組があるとする理由
2	施策の推進に当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか	○	・「北海道・北東北の縄文遺跡群」に関連する4道県及び関係市町村とともに文部科学大臣や文化庁長官に対しH29年度の世界遺産登録の推薦を要望するなど、必要な要望を国に対して実施しており、実現に向け進捗している。
3	道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立っているか	○	・北海道文化財保護審議会において、委員(学識経験者)から意見を聴取し、施策の推進に役立っている。
4	施策の推進に当たり、他の施策・部局との連携による成果を確認できるか	○	・アイヌ文化の振興等を図るための施策に関する基本計画に基づくアイヌ文化の保存、伝承、振興等について、関係部と情報交換を行い連携の成果が確認できる。
	施策の推進に当たり、地域・団体との連携・協働による成果を確認できるか	-	
判定 (基準1が「○」で、かつ基準2～4のうち1つ以上に「○」がある→a、それ以外→b)			a

(3)総合評価

成果指標の分析	取組の分析	総合評価
判定(計)	判定	
D指標あり	a	課題等はあるが引き続き推進

(4) 対応方針(次年度に向けての課題と今後の方向性)

対応方針			(関連する計画等)		
対応方針 番号	政策体系	内 容	北海道創生 総合戦略	北海道強 靱化計画	新・北海道 ビジョン
①	3(4)A	アイヌ文化にかかわる講座・研修会等について、幅広い受講者が参加可能となるような講座内容の充実や様々な媒体を活用した周知方法の工夫により、参加者増に繋がる取組を推進する。	-	-	-
②	3(4)A	芸術文化に接する機会の充実に向け、「アートギャラリー北海道」の取組について検討を進めていく。	-	-	-
③					
④					
⑤					
⑥					
⑦					
⑧					

平成29年度 基本評価調書

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	施策コード	11	—	10
-----	--------------------	-------	----	---	----

Check 施策評価・事務事業評価

6 二次評価結果（知事による評価）

（1）施策評価

付 加 意 見	
------------------	--

（2）事務事業評価

意見区分	整理番号	事務事業名	二次政策評価意見

平成29年度 基本評価調書

施策名	教育分野における芸術・文化活動の振興	施策コード	11 - 10
-----	--------------------	-------	---------

Action 施策・事務事業評価

7 施策評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

対応方針 番号	対	応
①	<新たな取組等> ・1講座当たりの参加者数の増に向けて、参加者アンケートの結果を踏まえた講座内容の検討や、ホームページ・広報紙への掲載など、更なる講座内容の充実と周知方法の工夫を図る。	
②	<新たな取組等> ・平成29年10月に決定した「アートギャラリー北海道」展開方針と、同方針により構築した美術館ネットワークにより、道内美術館及び収蔵作品を紹介する企画展を道立近代美術館等で開催するほか、道立美術館と道内美術館が連携してPR活動やイベント等を実施する。また、道内若手芸術家の作品を展示し、広くその活動を紹介する展覧会を道立三岸好太郎美術館等で開催する。 (新規:「アートギャラリー北海道」推進事業費) <組織体制等の見直し> ・「アートギャラリー北海道」事業実施における道立美術館の中心としての役割を担うため、道立近代美術館の学芸部を再編し、三岸好太郎美術館と一体となって、事業推進の要となる企画・研究機能の強化と機動的な取り組みを進めるための業務の効率化を図る。	
③		
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		

（2）二次評価結果への対応

意見区分	所管部局の対応	意見区分	所管部局の対応

平成29年度 基本評価調書

施策名

教育分野における芸術・文化活動の振興

施策コード

11 - 10

Action 事務事業評価

8 事務事業評価結果の反映（各部局等が実施）

（1）一次評価結果への対応

区分	方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果		1 事業	0 事業	9 事業	5 事業	0 事業	0 事業	2 事業	17 事業
反映結果		- 事業	1 事業	7 事業	5 事業	0 事業	0 事業	4 事業	17 事業

次年度新規事業 (予定)
3 事業

整理番号	事務事業名	一次政策評価 結果(再掲)	H30年度の 方向性
0536	児童生徒文化活動奨励事業費	現状維持	拡充
0537	高等学校文化活動推進費	現状維持	終了
1022	青少年芸術劇場費	縮小	縮小
1023	小規模市町村等教育活動支援事業費	終了	終了
1101	美術館維持運営費	現状維持	現状維持
1102	美術館事業費	縮小	縮小
1103	博物館登録等博物館事務、学芸員資格・講習会等事務	現状維持	現状維持
1104	文化財保存対策費	縮小	現状維持
1105	遺跡埋蔵文化財保存対策費	縮小	縮小
1106	アイヌ文化財保存対策費	見直し検討 (指標)	縮小
1107	文化財保護活動費補助金	縮小	縮小

1108	埋蔵文化財情報システム維持管理費	現状維持	現状維持
1109	世界遺産登録へ向けた取組の推進	現状維持	現状維持
1110	文化財に親しむ機会の提供と情報の発信	現状維持	現状維持
1111	ほっかいどう子ども民俗芸能振興事業費	終了	終了
1112	日本遺産認定に向けた取組の推進	現状維持	現状維持
1114	道内美術館活性化事業	現状維持	終了